

製品名: SAP 49 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17596**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	SF3B4
別名	SF3B4; SAP49; Splicing factor 3B subunit 4; Pre-mRNA-splicing factor SF3b 49 kDa subunit; SF3b50; Spliceosome-associated protein 49; SAP 49
遺伝子 ID	10262.0
SwissProt ID	Q15427
免疫原	抗血清はヒト SF3B4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

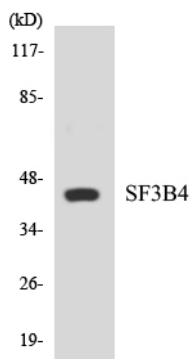
この遺伝子は、スプライシング因子 3B の 4 つのサブユニットのうちの 1 つをコードしています。この遺伝子によってコードされるタ

ンパク質は、プレスプライセオソーム複合体 A のプレ mRNA の分岐点配列のすぐ上流のプレ mRNA 領域に架橋結合します。また、B、C、E スプライセオソーム複合体の組み立てにも関与している可能性があります。RNA 結合活性に加えて、このタンパク質はスプライシング因子 3B のサブユニット 2 と直接かつ非常に特異的に相互作用します。このタンパク質は 2 つの N 末端 RNA 認識モチーフ (RRM) を含んでおり、プレ mRNA に直接結合するという観察と一致しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: プレ mRNA の分岐点配列 (BPS) への U2 snRNP の安定的な結合によって形成される「A」複合体の組み立てに必要なスプライシング因子 SF3B のサブユニット。分岐部位上流の SF3A/SF3B 複合体への配列非依存的な結合は必須であり、U2 snRNP を pre-mRNA に固定する可能性がある。また、「E」複合体の組み立てにも関与している可能性がある。SF3B4 は複合体「B」および「C」にも見つかっている。また、U12 依存性のマイナースプライソソームにも属し、核内 pre-mRNA イントロンの稀なクラスのスプライシングに関与する。類似性: SF3B4 ファミリーに属する。類似性: 2 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット: 少なくとも 8 つのサブユニットで構成されるスプライシング因子 SF3B の構成要素。SF3B1/SAP155/SF3B155、SF3B2/SAP145/SF3B145、SF3B3/SAP130/SF3B130、SF3B4/SAP49/SF3B49、SF3B14A、PHF5A/SF3B14B、SF3B10、SF3B125。SF3B はスプライシング因子 SF3A および 12S RNA ユニットと結合して U2 小核リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) を形成する。SF3B4 は SF3B2 と直接相互作用する。

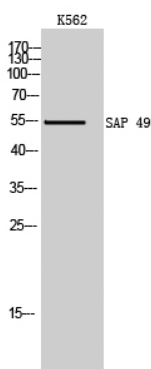
研究分野

スプライソソーム;

画像データ



SF3B4 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



SAP 49 ポリクローナル抗体を使用した K562 細胞のウェスタン ブロット分析。

SAP 49 ポリクローナル抗体を使用した K562 細胞のウェスタン ブロット分析。

